

令和4年4-6月期中小企業（製造業）

景況動向調査結果

令和4年7月15日
群馬県中小企業団体中央会

調査結果の概要

1. 調査目的 県内中小企業（製造業）における景況動向を的確に把握し、時宜を得た中央会指導方針の策定に資することを目的とする。
2. 調査期間 令和4年6月10日～令和4年6月30日
3. 調査方法 郵送調査
4. 調査対象 県内中小企業（製造業）で、本会会員組合所属の500社
5. 回答状況 調査対象500社のうち回答を得られたのは259社で、全体の回収率は51.8%となった。回答企業の平均従業員数は51.8人であった。

業 種	項 目	調査数	回 答		平 均 従業員数
			数	率	
食 料 品 製 造 業		95社	46社	48.4%	47.7人
織 維 ・ 同 製 品 製 造 業		59	29	49.2	18.6
木 材 ・ 木 製 品 製 造 業		30	21	70.0	24.6
紙 加 工 品 製 造 業		32	13	40.6	24.5
窯 業 ・ 土 石 製 品 製 造 業		61	42	68.9	30.0
金 属 ・ 機 械 ・ プ ラ ス チ ッ ク 製 品 製 造 業		223	108	48.4	81.7
計		500	259	51.8	51.8

6. 要旨

「売上増加するも原材料価格高騰で収益悪化、停滞が続く」

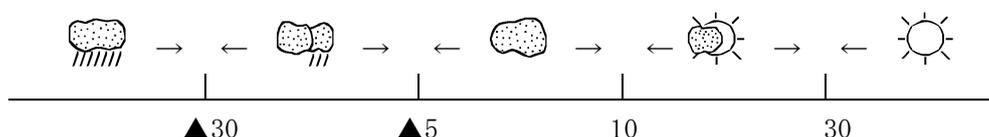
売上高と収益性を合わせたD I 平均値（前年同期比）〔※「前年同期比」は、令和3年4-6月期と比較した値。以下、「同期比」と表記〕については、▲29.0となり、前回調査（令和4年1-3月期）の▲29.1から0.1ポイント上昇している。来期見通しにおいては、13.1ポイント上昇し、▲15.9となる見通しになっている。

全体の天気図は、「小雨」となった。来期見通しにおいても「小雨」の状態が継続する見通しとなっている。

【図表1】

	2年			3年				4年		来期見通
	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	
全体	 ▲70.4	 ▲62.9	 ▲50.1	 ▲36.7	 ▲6.4	 ▲11.0	 ▲9.0	 ▲29.1	 ▲29.0	 ▲15.9

※景況天気図は「売上高」「収益性」(同期比)のD I 平均値を下記の基準に当てはめたもの。



業種別にみると、回復2業種、悪化2業種、横ばい4業種となっている。

回復…「紙・加工品」	 → 
「プラスチック製品」	 → 
悪化…「木材・木製品」	 → 
「機械・機器」	 → 
横ばい…「食料品」	 が継続。
「繊維・同製品」	 が継続。
「窯業・土石製品」	 が継続。
「金属・同製品」	 が継続。

来期見通しにおいては、回復3業種、横ばい4業種、悪化1業種となっている。

回復…「木材・木製品」



「金属・同製品」



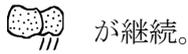
「機械・機器」



悪化…「プラスチック製品」



横ばい…「食料品」



が継続。

「繊維・同製品」



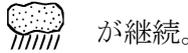
が継続。

「紙・加工品」



が継続。

「窯業・土石製品」



が継続。

【図表2】

